

日本初 『みんなの募金』でつくる サッカースタジアム

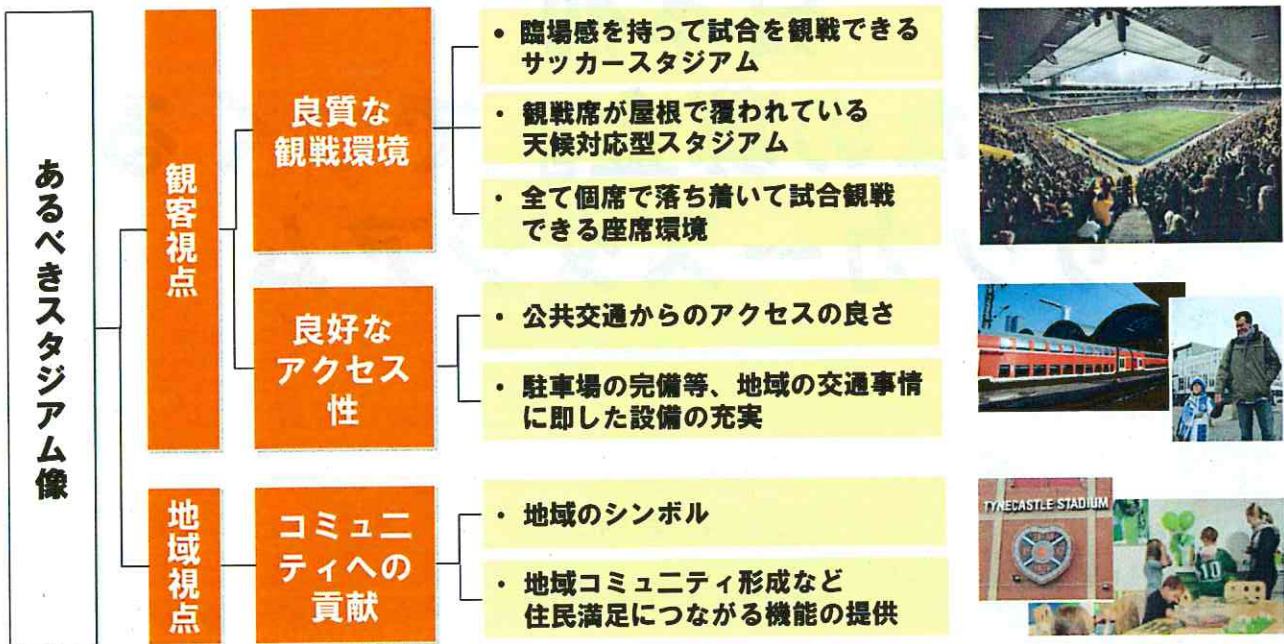
2014年 1月14日

スタジアム建設募金団体



理想のスタジアム＝観戦環境・アクセス性・地域貢献機能

Jリーグが目指すスタジアム像



(出所) J.LEAGUE NEWS「スタジアムの未来」を基にMURC作成

既存スタジアムの課題

Jリーグのスタジアム

- 陸上競技兼用スタジアムが多く、サッカーを楽しむためにできていない
- 自治体が建設したスタジアムが多く、Jリーグクラブの要望が反映されていない
- FIFA・日本サッカー協会の新基準を満たしていない(屋根・動線等)
- 規模が適切でない(大きすぎ・小さすぎ)
- 建設費・維持管理費が大きい
- 環境配慮・防災対応が不足

ガンバ大阪のホームスタジアム

- 陸上競技兼用
(万博記念機構の所有・管理)
- 観客席の大部分に屋根がない
- 老朽化(1972年開場)
- 収容人数が少ない(2万人)
- 自前の建替資金がない



スタジアム建設のしくみ

	従来の方法	今回の計画
建設地	自治体	自治体
建設主体	自治体	スタジアム建設 募金団体
建設費	税金	寄付 (個人・民間企業)
所有者	自治体	自治体 (公共施設)
維持管理	自治体	指定管理者

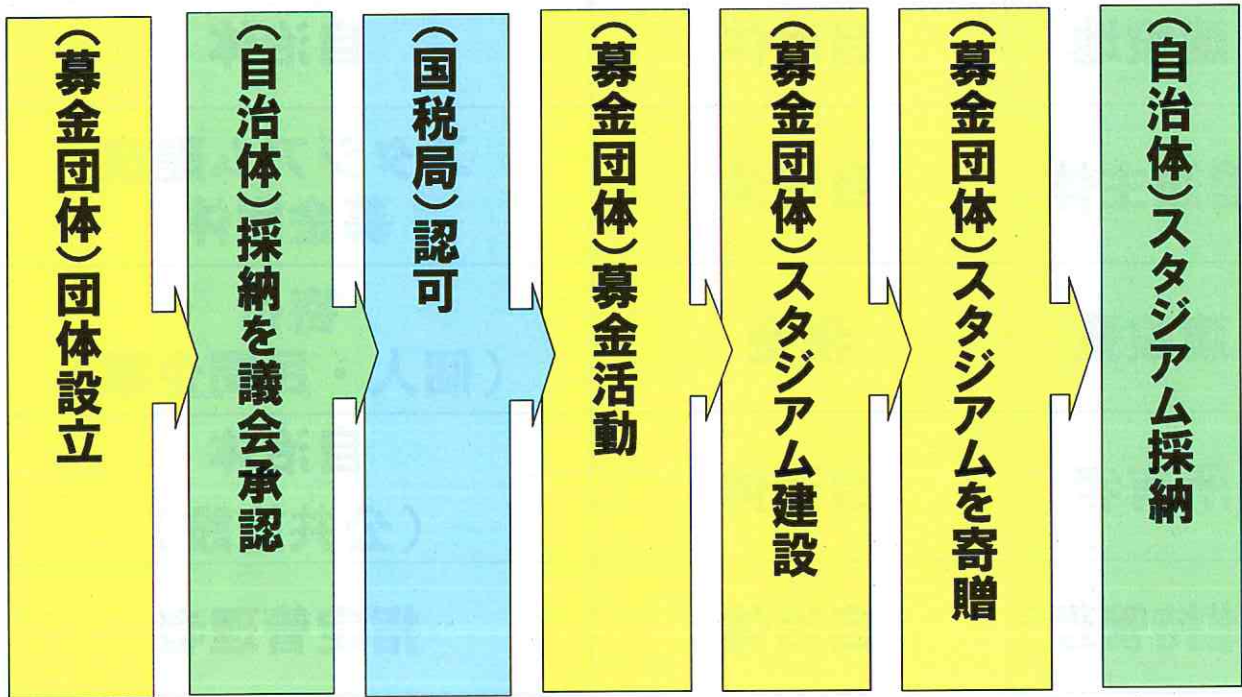
日本初「みんな」の寄付金でつくるスタジアム

「**国等に対する寄付金**」の制度を利用
自治体への直接寄付と同様の**税優遇**が可能



『国等に対する寄付金』の確認 制度手順

地域・自治体との連携が不可欠



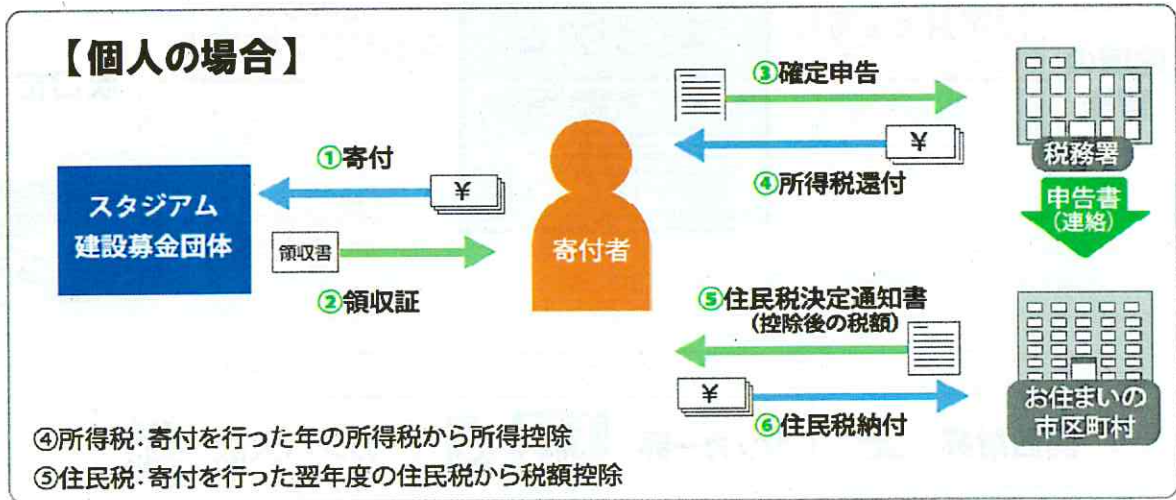
税制上の取り扱い

法人

全額 損金算入の扱い

個人

ふるさと寄付金の扱い
(所得税および住民税から寄付金控除)



(参考) スタジアム建設募金団体 組織

代表理事 金森喜久男		
募金担当部会	建設担当部会	監査役
金森喜久男 (ガンバ大阪 顧問) 下妻 博 (関西経済連合会 相談役) 森 詳介 (関西経済連合会 会長) 川淵 三郎 (日本サッカー協会 最高顧問) 鬼武 健二 (大阪府サッカー協会 会長) 大東 和美 (Jリーグ チェアマン) 野呂 輝久 (ガンバ大阪 代表取締役社長) 山下 好博 (ガンバ大阪 取締役)	金森喜久男 (ガンバ大阪 顧問) 森 詳介 (関西経済連合会 会長) 川淵 三郎 (日本サッカー協会 最高顧問) 鬼武 健二 (大阪府サッカー協会 会長) 大東 和美 (Jリーグ チェアマン) 野呂 輝久 (ガンバ大阪 代表取締役社長) 山下 好博 (ガンバ大阪 取締役)	池田 裕彦 (大江橋法律事務所) 目加田 雅洋 (あずさ監査法人) 河井 英明 (パナソニック株式会社)

III. 後押しした要因

建設を後押しした要因① 自治体の協力体制

建設～完成後まで長期的な自治体との連携体制が不可欠

必要な活動は多岐に渡る

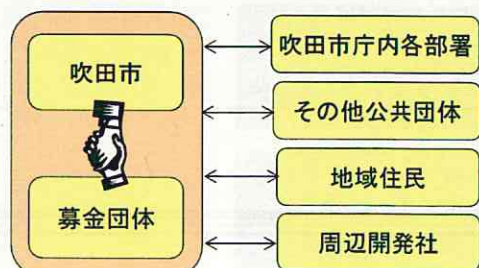
- ☛自治体の中での推進活動
 - 建設に関する諸手続き
 - 各部局間での調整
 - 周辺開発との調整・連携
- ☛地域での推進活動
 - 地域におけるスタジアムの活用
 - 地域住民との関係構築
- ☛完成後の管理運営・活用の推進活動
 - サッカーでの活用
 - 公共施設としての活用
 - 黒字経営の多目的な活用
 - そのための条例等環境整備



そのために必要な推進体制を整備

吹田市ー募金団体の場合

- ☛吹田市:専任部局を設置
ガンバ大阪:団体の事務局機能を担当
- ☛建設関連協議はすべて吹田市担当者が同席。これにより自治体内での調整がよりスムーズとなる。
- ☛地域住民との協議にも吹田市が同席。



建設を後押しした要因② 建設費と助成金

同規模スタジアムに比べ格安の建設費

エリア	スタジアム名称	収容人数	建設費(億円)
愛知	豊田スタジアム	45,000人収容	447
新潟	東北電力ビッグスワン	42,300人収容	300
大分	九州石油ドーム	40,000人収容	250
茨城	県立カシマサッカースタジアム	40,000人収容	193(改修のみ)
兵庫	ノエビアスタジアム	30,132人収容	230
大阪	(仮称)吹田市立スタジアム	40,000人収容	140

140億のうち30億をスポーツ振興くじ(toto)の助成

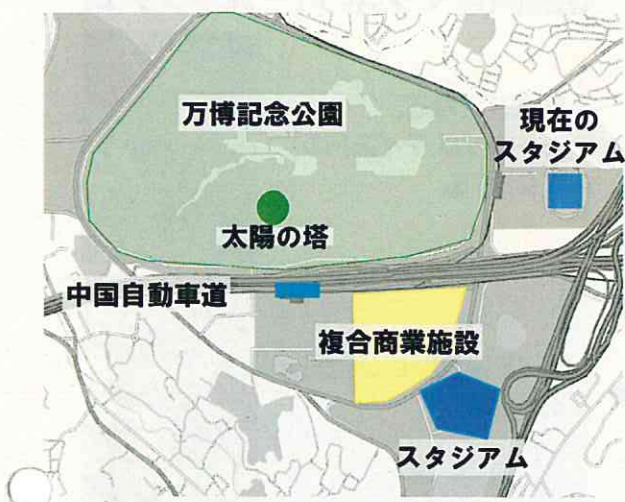
(参考) 活用が考えられる助成金

主要な補助金・助成制度の制度概要

	助成項目	対象事業	制度概要
totoスポーツ振興助成 (日本スポーツ振興センター)	大規模スポーツ施設 整備助成	・リーグホームスタジアム等 整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体が助成対象 対象経費 <ul style="list-style-type: none"> - 工事費、付帯設備費、設計管理費 助成金の額 <ul style="list-style-type: none"> - 助成対象経費×3/4 - 金額上限30億円 国費(補助金含む)を支給されている事業は対象外(ダブル受給は不可)
社会資本整備総合交付金 (国土交通省)	都市再生整備計画事業 ※旧まちづくり交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災施設の整備 ・賑わい施設・イベントの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体が作成する都市整備計画全体に対する一括交付 <ul style="list-style-type: none"> - 具体的な用途は自治体判断 国費負担割合 <ul style="list-style-type: none"> - 事業費に対して40~45%
	都市公園事業費補助 ※旧都市公園事業費補助	<ul style="list-style-type: none"> ・運動施設 <ul style="list-style-type: none"> - 陸上競技場 - サッカー場 	<ul style="list-style-type: none"> 国からの助成割合 <ul style="list-style-type: none"> - 土地取得費 1/3 - 施設 1/2
地域防災拠点施設整備 モデル事業費補助金 (内閣府)	地方公共団体の事業 推進に関する 経費助成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> - 避難所 - 備蓄倉庫 - ヘリポート 等 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の額 <ul style="list-style-type: none"> - 事業経費の1/2もしくは 2.5億円のうちのいずれか低い金額 他の国庫補助金とのダブル受給は不可 <ul style="list-style-type: none"> - 超過分は返還義務発生

建設を後押しした要因③ 周辺との一体開発

周辺との一体開発で建設効果を最大に



万博記念公園

- ・万博当時から続く自然公園。
- ・公園内イベントも盛んに開催。



複合商業施設

- ・ショッピングとエンターテインメントの複合施設が同時期にオープン予定。



自然散策・ショッピング・スポーツの融合した
大阪北部の一大商業スポットとして開発
(大阪府・吹田市が連携)

(参考) スタジアムのもたらす経済効果

試合観戦を要因とした、まち全体への観光客の流入拡大という波及効果を予想。
国際大会などの誘致により、さらなる経済効果が期待される。

		大阪府下	うち吹田市
建設の経済波及効果		274億7,000万円	68億6,750万円
観客の 消費経済効果	初年度	81億6,200万円	40億8,100万円
	2~10年の合計	604億3,400万円	302億1,700万円
合計		960億6,600万円	411億6,550万円

※上記試算は、スタジアム建設および試合観戦にともなう直接消費による経済効果の試算。

国際大会に対応したスタジアムの新スタンダードの創出

サッカーを楽しむ
スタジアム

多様な観戦者への
付加価値サービス

スポーツによる
地域への貢献

負担の少ない
維持管理



- お客様
- 選手
- 地域
- スポンサー
(寄付者)
- メディア
- サッカー協会
Jリーグ
- クラブ
- 施設所有者
(行政)
- 施設管理者



「夢」の
実現

サッカーを楽しむ全ての人々を引きつける
OSAKA マグネット・スタジアム

日本初となる、
ヨーロッパテイストの
スタジアム

「大阪元気プロジェクト」
の展開

安全で、長持ちし、
健康であり続ける
スタジアム

デザインコンセプト

肩を組んだイメージの外観

- 「夢」の実現へと願いを込めて、肩を組む姿をイメージ

人々の興味をひきつけるわくわく感のある形

- サッカーのスピード感をイメージした外観
- お客様を迎える四方に開かれた4つの屋根
- 夜間に建物からもれる青い光による非日常的な演出

女性にも共感される清潔感のあるデザイン

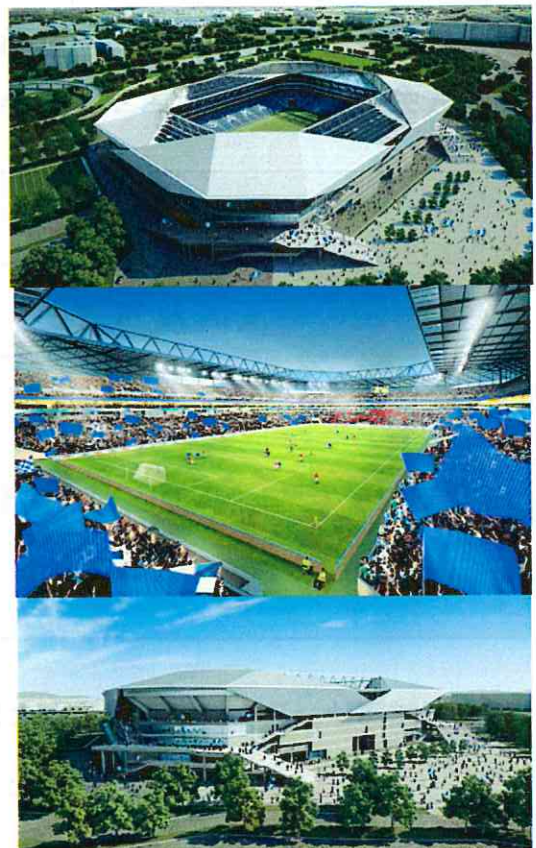
- 丸みのあるコーナーを持つやさしい外観
- 明るく清潔感のあるカラーリング

シンプルでコンパクトなスタジアム

- 合理的な構造部材に融合し、耐久性のある素材を生かしたシンプルな屋根と壁
- 周辺環境へ配慮した小さく低い建物ボリューム
- 芝生へ太陽光をとり入れ、客席への雨をさえぎる低くフラットな屋根

地球にやさしいエコスタジアム

- 自然エネルギーの活用と環境負荷の低減
- 生物多様性を保全する森づくり



ピッチを囲む客席の臨場感と一体感が
最高の感動を生みます



お客様をゲームに引きつけるピッチに近い観客席



ピッチを囲む一体感のある観客席



ヨーロッパテイストのVIPフロア



フラットで圧迫感のない屋根



V. スタジアムの特徴

ピッチまで最小7mの臨場感あふれるスタンド



V. スタジアムの特徴

すべて客席に開かれ回遊できるコンコース

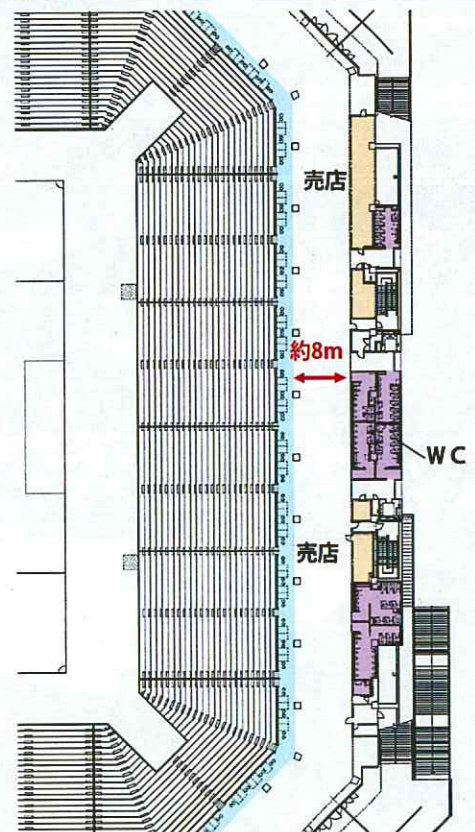
3Fコンコース



V. スタジアムの特徴

ショッピングモールのようなコンコース

3F平面図



0 10 20 30 40 50m

ヨーロッパスタイルの魅力的なVIPフロア



VIP個室イメージ



VIPラウンジイメージ

クリーンな地球環境を次世代へとつなぐエコスタジアム

スタジアムでは日本初となるCASBEE Sランクを目指します



■太陽光発電



■雨水利用



■自然通風



■高効率・省エネ機器

CO₂換算削減量 358t-CO₂/年

自然エネルギーを活用した地域の防災拠点

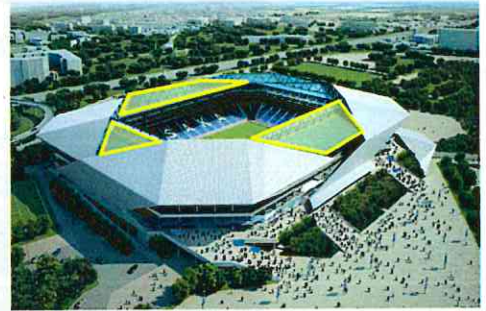
- ・災害対策本部のバックアップ機能
- ・救援物資配送センター
- ・太陽光発電による電気確保
- ・生活用水の確保（飲み水、シャワー、手洗い用）
- ・災害用備蓄倉庫の設置
- ・避難所 長期：300人が1ヶ月滞在
短期：800人が10日滞在



災害対策本部イメージ写真



災害用備蓄倉庫イメージ写真



太陽光発電設置場所

試合開催日以外もにぎわいあふれるスタジアムへ



貸会議室・研修室



地域イベント



企業展示会



ウェディングパーティー